

JPNICブログコーナー

JPNICブログから、オススメ記事を紹介。今回は、JPNICで行った「今後のインターネットと標準化」に関するアンケートの結果の一部をご紹介します。ぜひ、JPNICブログで全文をご覧ください！



カテゴリー

- IETF
- Internet Week
- IPアドレス
- JPNICからのお知らせ
- JPNICについて
- JPNICのイベント
- アクセス数Top 10
- インターネットガバナンス
- **インターネットの技術**
- コラム
- ドメイン名
- 他組織からのお知らせ
- 他組織のイベント

event_team 2021年1月22日 IETF インターネットの技術 <https://blog.nic.ad.jp/2021/5805/>

「今後のインターネットと標準化」に関するアンケート結果

IETFをはじめとする標準化団体では、2018年頃から話題になっているNew IPや2030年を目安にした今後のネットワークアーキテクチャに関する議論が行われています。

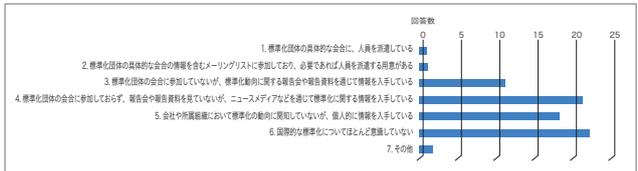
IETFミーティングへの日本からの参加者が徐々に減っている中、今後を考えたとき、国際的な標準化の活動にどのように関わっていけば良いのでしょうか。またその課題には何があるのでしょうか。この検討に向けた基本的な調査をするため、JPNIC会員およびJPNICからIPアドレス・AS番号の分配組織にアンケートを実施しました。

■アンケート項目1:「国際的な標準化団体(IETF、IEEE、ITU、ETSI、3GPP、W3C、CAブラウザフォーラムなど)での活動にどのように取り組んでいるか、ご自身の所属する組織やご自身のお考えに一番近いものをお知らせください。」

国際的な標準化活動に参加されているのか、参加していないけれども関心を持たれているか、もしくは意識されていないかを伺う質問です。

「国際的な標準化についてほとんど意識していない」が29%と最も多く、「標準化団体の会合に参加しておらず、報告会や報告資料を見ていないが、ニュースメディアなどを通じて標準化に関する情報を入手している」が28%、「会社や所属組織において標準化の動向に関知していないが、個人的に情報を入手している」が24%、「標準化団体の会合に参加していないが、標準化動向に関する報告会や報告資料を通じて情報を入手している」が14%でした。

標準化団体の会合に参加していないものの、何らかの形で情報を入手している回答を合計すると66%になります。関心を寄せられていて本アンケートへの回答をしてくださっていると推測はできませんが「意識していない」という回答がある中、大きい割合であるとも見えます。

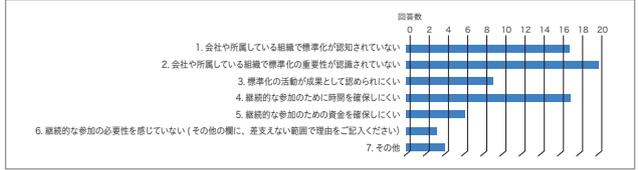


アンケート項目1の結果

■アンケート項目2:「継続的な標準化活動への参加にあたってのお考えや課題と感じられていることで一番近いことを教えてください。」

標準化活動の場においては、しばしば継続的に参加する必要性が指摘されています。しかし継続的な参加に至らないケースは多く、その課題を伺う質問です。

「継続的な参加の必要性を感じていない」は少なく、多かった回答は「会社や所属している組織で標準化が認知されていない」、「会社や所属している組織で標準化の重要性が認識されていない」、「継続的な参加のために時間を確保しにくい」でした。標準化に関する所属組織での認知や重要性の認知が低いために、資金の確保につながりにくいということでしょうか。



アンケート項目2の結果

■結果を受けて

本アンケートが標準化に関するものであることから、回答してくださった方には国際標準や標準化活動の重要性を認識されている方が多かったのかもしれませんが。全体としては広く認識されているとは言い難い状況であるかもしれません。ただ、何らかの形で標準化の動向を把握し、日本から議論に参加していく、もしくは国際的な動向に関心を寄せていく必要性を感じている方が多数いるという実感は得られました。